

3 生涯学習施設

(1) 施設一覧

施設名	所在地	基本的な方針	
図書館	宮成町 1-1	存続	機能移転や他施設との複合化を含め検討
生命の海科学館	港町 17-17	存続	他施設機能の取り込みを含めて検討
博物館	栄町 10-22	存続	展示機能の見直しを含め検討

(2) 基本的な方針の考え方

- ・図書館は、機能移転や他施設との複合化を含め、より魅力ある図書館となるよう検討を行い、検討結果に沿った施設整備を行います。
- ・生命の海科学館は、教育施設及び観光施設として多くの方に利用されています。他施設機能の取り込みを含めた検討を行い、検討結果に沿った施設整備を行います。
- ・博物館は、市民の「蔵」「作品発表の場」として活用されています。展示機能の見直しを含めて施設のあり方について検討を行い、検討結果に沿った施設整備を行います。

個別施設計画個票

更新日 令和4年3月1日

所管課名	教育委員会庶務課
------	----------

1. 施設の概要

施設名称	図書館	所在地	宮成町1-1
施設コード	217	施設面積	1,986.87㎡
土地所有状況	市有地：3,593.84㎡	建設年	昭和44年
構造・階数	鉄筋コンクリート造・3階	耐震化状況	耐震補強未
避難所指定の有無	無	管理者	市管理
施設老朽化度	3.3	特記事項	

2. 管理に関する基本的な方針

基本的な方針	存続
【基本方針の説明】	
市民の教育と文化の発展を図るため設置されている図書館で、市民の読書欲求や情報・知識の収集を行う場として、多くの方に利用されている施設であるが、施設の主たる部分は昭和44年度に建設されており、老朽化が進んでいる。 より魅力ある図書館となるよう、長寿命化や機能移転、複合化を含めた建て替えの検討を行い、検討結果に沿った施設整備を行います。	
【施設維持方針に関する検討履歴】	
蒲郡市図書館は昭和44年7月1日に開館し、建設から51年が経っている。愛知県の中央図書館では最も古い図書館となっている。 令和元年度の前半は指定管理者と現状問題の洗い出しを行った。 令和元年度の後半は教育委員会関係各課と図書館、市民会館、博物館などの複合施設について選択肢の1つとして検討した。	
目標使用年数	80年

3. 管理に関する課題

【短期的課題】	
雨漏り、空調設備の老朽化などが深刻な問題となっており、大規模改修を行う必要がある。耐震性も不足しており、早期に対応が必要である。 また、空調設備に不調も出ており改修が必要である。	
【中・長期的課題】	
旧看護専門学校解体により、閉架スペースが狭くなり、一部図書を施設外に移動している状態である。それら図書の管理についてどうするのか検討する必要がある。	

生涯学習施設

4. 維持・管理実施方針

利用者の安全確保のため、屋根、外壁等を中心に計画的に改修を行っていく。

【目標使用期限までに必要となる維持保全工事】

年度	維持保全工事内容	概算額（千円）	備考
令和3年度	空調設備修繕、小荷物専用昇降機改修	13,031	
令和4年度			
令和5年度	空調設備改修工事	5,517	
令和6年度			
令和7年度	屋根、外壁、空調、外部建具等全般補修	180,276	駐輪場修繕を含む
令和8年度			
令和9年度			
令和10年度			
令和11年度			
令和12年度			
令和13年度			
令和14年度			
令和15年度			
令和16年度			
令和17年度			
令和18年度			
令和19年度			
令和20年度			
令和21年度	屋根、外壁補修	12,450	駐輪場修繕を含む
令和22年度			
令和23年度			
令和24年度			
令和25年度			
令和26年度			
令和27年度	空調、搬送設備	23,641	
令和28年度			
合 計		234,915	

（参考：維持管理経費等の状況）

【千円】

【支出】	平成29年	平成30年	令和元年度	備考
保守コスト				
運用コスト				
修繕コスト	6,754	17,877	198	
その他	19	19	19	
合計	6,773	17,896	217	

【千円】

【収入】	平成29年	平成30年	令和元年度	備考
利用料等収入	309	326	330	

【人】

【利用者等】	平成29年	平成30年	令和元年度	備考
利用者数	326,754	314,904	310,000	

個別施設計画個票

更新日 令和4年3月1日

所管課名	生涯学習課
------	-------

1. 施設の概要

施設名称	生命の海科学館	所在地	港町17-17
施設コード	2	施設面積	3,296.91㎡
土地所有状況	市有地：6,626.81㎡	建設年	平成10年
構造・階数	鉄筋コンクリート造一部鉄骨造・3階	耐震化状況	耐震性能あり
避難所指定の有無	無	管理者	市管理
施設老朽化度	3.3	特記事項	駐輪場（15.88㎡）あり

2. 管理に関する基本的な方針

基本的な方針	存続
【基本方針の説明】	
<p>主に理科教育施設及び観光施設として多くの方に利用されている。展示室への入場者数は約4万人/年。週末に実施している各種イベントや学校団体での来館も多く、施設全体では約8～9万人/年の利用がある。建物自体は築20年をすぎ、壁や扉・床など内部設備、建物自体に老朽化がみえはじめているため計画的に修繕を行い、長期に渡って適切に維持していく必要があります。</p> <p>併せて、魅力の向上を図るため、他施設機能の取り込みを含めて今後の施設整備方針についての検討を行います。</p>	
【施設維持方針に関する検討履歴】	
<p>平成19年度 生命の海科学館見直し検討委員会準備会 平成20年度 生命の海科学館見直し検討委員会 平成21年度 生命の海科学館実施計画策定委員会 平成11年度に情報ネットワークセンター・生命の海科学館として運用が開始された当館であるが、来館者数の減少から、見直し委員会が設置され、平成22年度からは様々な改革が進められた。平成26年度に情報ネットワークセンターの廃止、平成27年度より科学館を教育委員会へ所管替えがされ、教育普及施設及び観光資源として活用していくことが決定された。</p>	
目標使用年数	80年

3. 管理に関する課題

【短期的課題】
<p>築20年を経過しており、壁や扉・床など内部設備・建物自体ともに老朽化がみられ、今後も進むと予想される。計画的に修繕を行い、長期にわたって適切に維持していく必要がある。</p>
【中・長期的課題】
<p>イベント的な利用だけでなく長く市民の教育に貢献するため学校連携の強化が望まれる。また、建物は、機能よりもデザインを重視した作りになっており、メンテナンス費用が高額になること、大規模な改修には著作権を所持しているデザイン事務所の許可が必要なことなどから、改修には早めの準備が必要になる。</p>

生涯学習施設

4. 維持・管理実施方針

蒲郡市内では比較的新しい施設であり、修繕対応の緊急度は相対的には低い。だが、長く使用していくためには適宜メンテナンスを行う必要がある。
建物は機能よりもデザインを重視した作りになっており耐久性については適宜状況を見て判断していく必要があると考える。現在は使用に耐えうると目標使用年数80年としたが経年劣化の様子によっては見直しも必要。

【目標使用期限までに必要となる維持保全工事】

年度	維持保全工事内容	概算額（千円）	備考
令和3年度			
令和4年度	自家発電機（エンジンメンテナンス） 事務所LED化	1,767	
令和5年度	空調機入替・電話交換機・自家発電機（制御盤）	89,320	冷媒 フロンR22関係
令和6年度			
令和7年度			
令和8年度			
令和9年度	ミュージアムシアター	5,005	
令和10年度	改修工事	78,822	築後30年
令和11年度			
令和12年度	防水修繕	3,844	
令和13年度			
令和14年度			
令和15年度			
令和16年度			
令和17年度			
令和18年度	空調修繕		
令和19年度	ミュージアムシアター	22,466	
令和20年度	改修工事	329,001	築後40年
令和21年度	外壁修繕・改修	54,768	コンクリート修繕、サイディング改修
令和22年度	防水改修	23,362	
令和23年度			
令和24年度	プレシオ広場・電話交換機・自家発電機	24,453	
令和25年度	エレベーター修繕	4,139	
令和26年度			
令和27年度			
令和28年度			
合 計		636,947	

（参考：維持管理経費等の状況）

【千円】

【支出】	平成29年	平成30年	令和元年度	備考
保守コスト	11,447	10,288	12,206	
運用コスト	13,772	11,614	11,901	
修繕コスト	18,505	4,613	41,540	
その他				
合計	43,724	26,515	65,647	

【千円】

【収入】	平成29年	平成30年	令和元年度	備考
利用料等収入	10,120	9,780	8,489	

【人】

【利用者等】	平成29年	平成30年	令和元年度	備考
利用者数	92,588	85,094	79,009	

個別施設計画個票

更新日 令和4年3月1日

所管課名	博物館
------	-----

1. 施設の概要

施設名称	博物館	所在地	栄町10-22
施設コード	219	施設面積	2,343.88㎡
土地所有状況	市有地：5,034.61㎡	建設年	昭和54年
構造・階数	鉄筋コンクリート造・2階	耐震化状況	耐震性能あり
避難所指定の有無	無	管理者	市管理
施設老朽化度	3.4	特記事項	

2. 管理に関する基本的な方針

基本的な方針	存続
【基本方針の説明】	
<p>「市民の蔵」「市民の作品発表の場」として、地域に密着した資料の収集・保管及び展示・講座等を実施している。併せて、文化財の保護・活用も行っている。</p> <p>建物の耐震は、基準を十分にクリアしており、平成25年度以降に電気設備・1階展示室空調設備・壁クロス張替・西館空冷チラー等の更新が順調に進んでいる。</p> <p>展示機能の見直しを含めた「博物館のあり方」について検討し、検討結果に沿った施設管理を行っていく。</p>	
【施設維持方針に関する検討履歴】	
<p>令和元年度に教育委員会関係各課で、リーディングプロジェクトに対する検討を実施。</p> <p>令和2年度に教育委員会関係各課で、施設のあり方について検討を実施。</p>	
目標使用年数	80年

3. 管理に関する課題

【短期的課題】
<p>本館は耐震診断で補強不要、防水工事も令和元年度に実施済。開館以来未着手の本館2階空調設備・電話設備・昇降装置の更新、外壁（特に東・南面）塗装替工事の実施が望まれる。西館2階防火扉付近で時折雨漏りが発生する。</p>
【中・長期的課題】
<p>高麗門については、歴史的な文化財であるため規模については現状維持とし、全体に西に傾いているとのことなので当面は経過観察、安全上の問題が生じた場合は適切な改修が必要になる。</p>

生涯学習施設

4. 維持・管理実施方針

建設から40年以上経過しているが建物強度は十分であり、今後も適切な設備修繕・更新を行うことで長期利用が可能であると考え、目標使用年数は80年と設定した。

【目標使用期限までに必要となる維持保全工事】

年度	維持保全工事内容	概算額（千円）	備考
令和3年度	資料館改修・修繕 高麗門塗裝修繕	21,307	2階空調設備更新・電話設備更新
令和4年度	資料館修繕	45,942	昇降装置更新・展示照明LED化・
令和5年度	資料館修繕 資料館（西）修繕 仮設収蔵庫1・2修繕	12,301	外壁他塗装替 会議室空調更新 塗装替
令和6年度	資料館修繕	1,588	空調
令和7年度	資料館（西）大規模改修	110,113	
令和8年度			
令和9年度			
令和10年度			
令和11年度	資料館修繕	8,579	トップライト修繕 本館築50年
令和12年度			
令和13年度	門修繕 仮設収蔵庫1修繕	4,386	
令和14年度	資料館（西）修繕 仮設収蔵庫2修繕	3,427	研修室空調修繕
令和15年度			
令和16年度			
令和17年度			
令和18年度			
令和19年度	資料館（西）修繕	16,737	空冷チラー改修
令和20年度			
令和21年度			
令和22年度			
令和23年度	資料館大規模修繕	88,249	
令和24年度	仮設収蔵庫1・2改修	11,029	仮収蔵庫築40年
令和25年度			
令和26年度			
令和27年度			
令和28年度			
合 計		323,658	

（参考：維持管理経費等の状況）

【千円】

【支出】	平成29年	平成30年	令和元年度	備考
保守コスト	6,216	3,803	3,962	
運用コスト	3,610	3,962	3,961	
修繕コスト	9,721	1,490	2,536	
その他	848	518	644	
合計	20,395	9,773	11,103	

【千円】

【収入】	平成29年	平成30年	令和元年度	備考
利用料等収入	555	415	377	

【人】

【利用者等】	平成29年	平成30年	令和元年度	備考
利用者数	35,646	35,014	32,623	